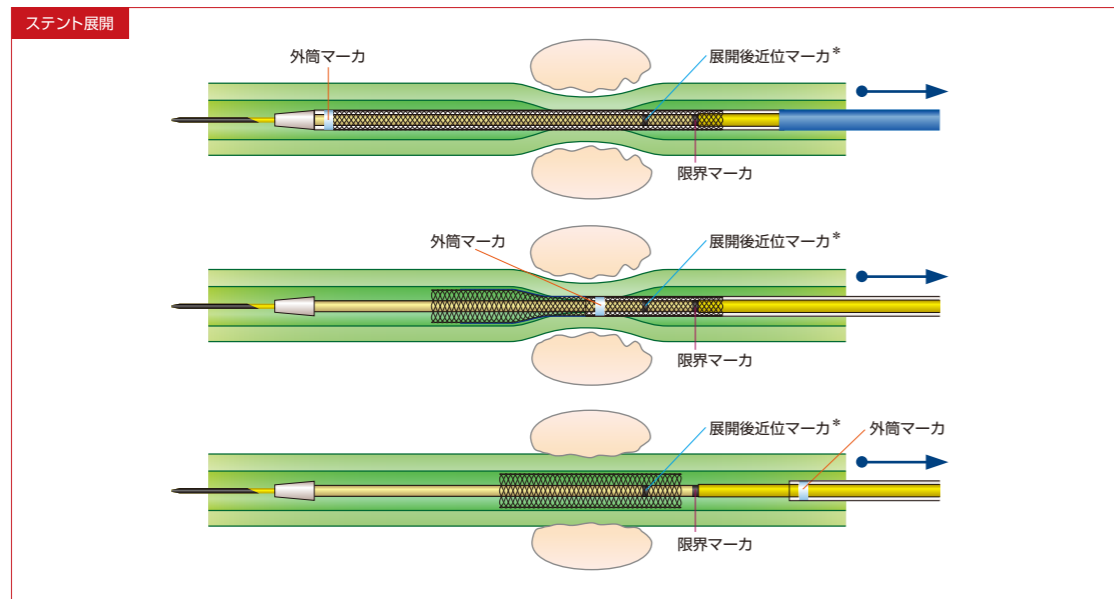


WallFlex™ Colonic Stent

ウォールフレックス 大腸用ステント

*「展開後近位マーカ」は、ステントが展開したときのステントのプロキシマル端のおおよその位置を示す目安です。



ステントの再収納は2回まで可能です。外筒マーカが限界マーカを超えるとステントの再収納は行えません。

ウォールフレックス 大腸用ステント

カタログ番号	ステント			デリバリーシステム		適合ガイドワイヤ (inches)
	外径 (mm) フレア部	本体	ステント長 (cm)	カテーテル外径 (Fr)	有効長 (cm)	
6504	30	25	6	10	230	Max. 0.035
6505	30	25	9	10	230	Max. 0.035
6506	30	25	12	10	230	Max. 0.035
6507	30	25	6	10	135	Max. 0.035
6508	30	25	9	10	135	Max. 0.035
6509	30	25	12	10	135	Max. 0.035
6510	27	22	6	10	230	Max. 0.035
6511	27	22	9	10	230	Max. 0.035
6512	27	22	12	10	230	Max. 0.035
6513	27	22	6	10	135	Max. 0.035
6514	27	22	9	10	135	Max. 0.035
6515	27	22	12	10	135	Max. 0.035

推奨ガイドワイヤ

- **Hydra Jagwire™** (スティップ) 0.035 インチ, 450cm
 カタログ番号: 5606 ストレートチップ
 カタログ番号: 5607 アングルチップ
- **Jagwire™ Plus** (スティップ) 0.035 インチ, 450cm
 カタログ番号: 5660 ストレートチップ
 カタログ番号: 5661 アングルチップ

医科診療報酬点数: K735-4 下部消化管ステント留置術 9,100 点
 特定保険医療材料区分: 157 消化管用ステントセット (1)カバーなし
 償還価格: 252,000 円

※径表示換算目安: 1mm=3French=0.0394inches

販売名:ウォールフレックス 大腸用ステント
 医療機器承認番号: 22300BZX00308000

販売名:ハイドラジャグワイヤー
 医療機器承認番号: 220ABBZX00040000

販売名:ジャグワイヤー
 医療機器承認番号: 220ABBZX00192000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。
 © 2017 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
 All trademarks are the property of their respective owners.

Boston Scientific
 Advancing science for life™

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
 本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp

31509-B / PSST20170608-0575

Boston Scientific
 Advancing science for life™

WallFlex™ Colonic Stent

ウォールフレックス 大腸用ステント



緩和ケアと術前減圧治療へ新たな選択肢を提供する
 ウォールフレックス 大腸用ステント

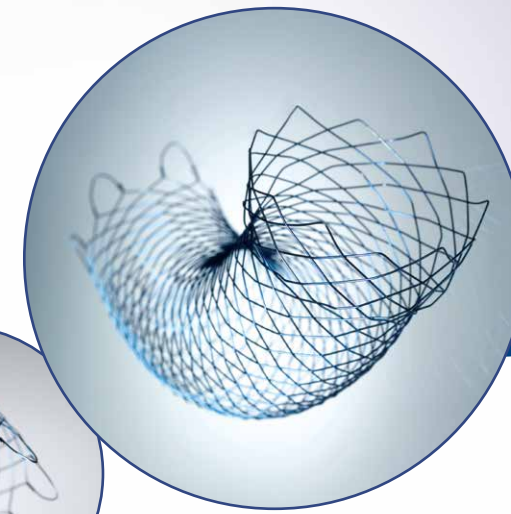
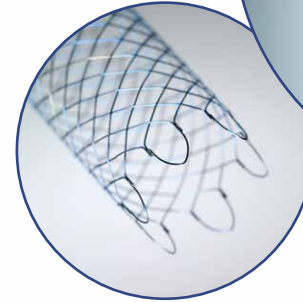
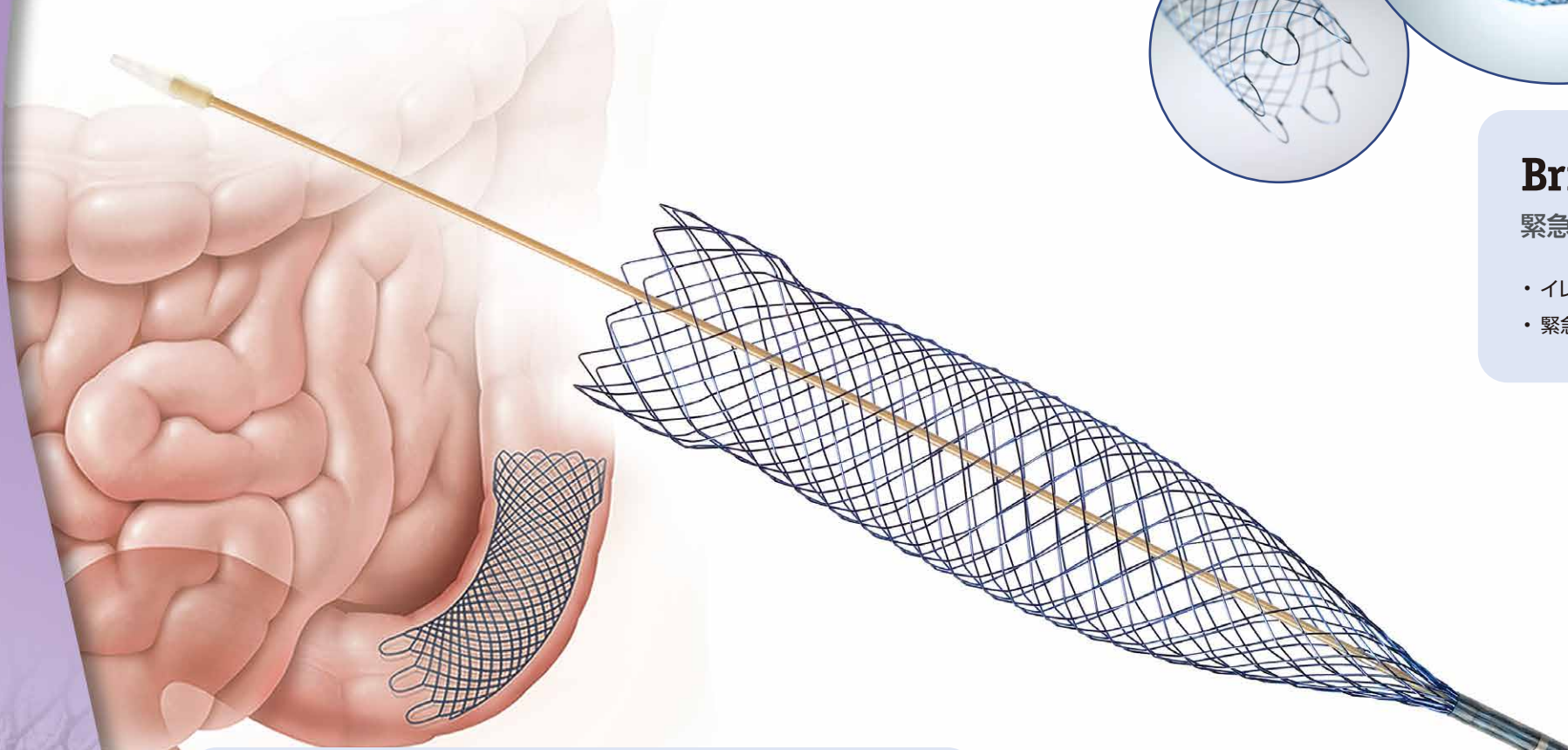
WallFlex™ Stents
Open to the
Possibilities™.

ボストン・サイエンティフィックが
目指すもの、それは医療の新たな
可能性を追求することです。
WallFlex™ は、消化管ステントに
求められる「管腔の開存」「柔軟性」
「コントロール性」のベストバランス
を目指した製品群で、治療の選択
肢を広げるために開発された
プラットフォームです。胆道ステント
から胃・十二指腸ステント、そして
大腸ステントへ。WallFlex™ の優
れたテクノロジーは、患者様のQOL
向上のため、さらに進化を続けます。

緩和ケアと術前減圧治療への新たな選択肢を提供する

WallFlex™ Colonic Stent

WallFlex™ Colonic Stent は、悪性腫瘍による大腸閉塞に対するステントとして開発され、
本邦で初めて薬事承認を取得した大腸用メタリックステントです。
緩和治療と術前減圧治療を目的とした新しい治療の選択を提供いたします。



Bridge to Surgery

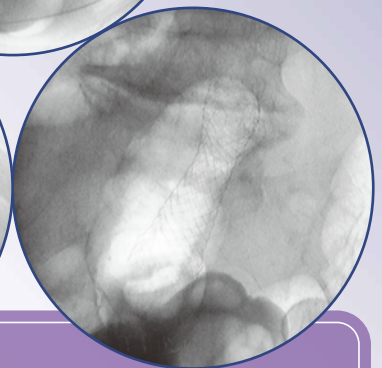
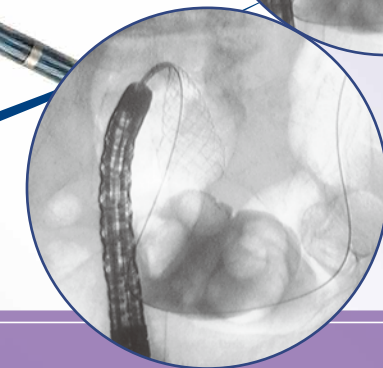
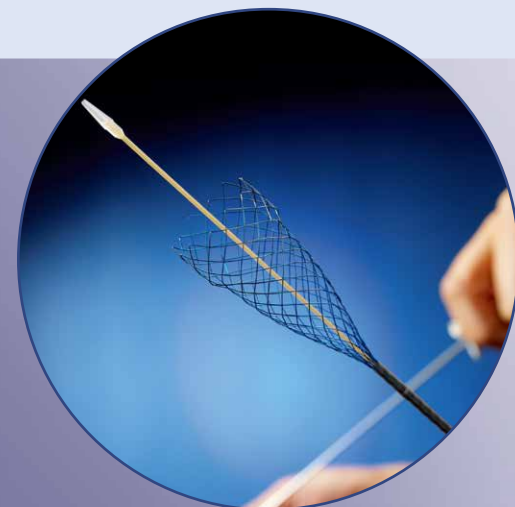
緊急手術を回避して待機的手術を行うための術前留置

- ・イレウス症状を解除し、一期的手術を選択できる可能性を高めます。
- ・緊急手術と比べて人工肛門を一時的に造設する必要性を低減します。

Palliative Care

人工肛門を伴う手術の代わりに狭窄を解除する緩和治療

- ・低侵襲な手技で狭窄症状を改善できるため、患者様の身体的・精神的負担を軽減します。
- ・腸管の機能を維持することで食事摂取と自力排便を促し、患者様のQOL向上に大きく貢献します。



WallFlex™ Technology

- ・ TTS (Through-The-Scope) または OTW (Over-The-Wire) に対応する 10Fr のデリバリーシステムは、高度に屈曲した解剖においても高いアクセス性と通過性を実現します。
- ・ ナイチノール素材のブレイデッド (編み込み) ステントは、柔軟性と拡張力をバランス良く発揮するようデザインされています。
- ・ ステント口側のフレア形状はステントの脱落を防ぎ、肛門側のループエンドは腸管への刺激を低減します。